

# 農林水産部試験研究課題に係る令和5年度外部評価の結果について

令和5年10月11日  
農林水産政策課

外部の有識者による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ることを目的として、試験研究課題について外部評価を行いましたので、報告します。

## 1 外部評価委員会

- (1) 実施時期 9月1日(金) (オンライン開催)
- (2) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計10名

## 2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
  - ア 来年度から取組もうとする研究課題(事前評価対象 13課題)
  - イ 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 5課題)
- (2) 評価結果の概要
  - ア 事前評価課題 9課題は、研究を実施すべき。4課題は、研究内容・方法を見直して実施すべき。
  - イ 中間評価課題 2課題は、研究を継続すべき。3課題は、研究内容・方法を見直して継続すべき。
- (3) 試験研究内容に関する委員の主な意見
  - ア 評価の高かった研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
園芸試験場 (事前)	市場競争力のある鳥取オンライン園芸品種の育成	生産者・消費者にニーズのある品種改良は試験場の役割として中心となる課題で、大変重要である。
畜産試験場 (事前)	全共に勝つ&鳥取和牛ブランド向上のための肥育技術の確立	日本一になることは消費者が魅力を感じる一つの目安になり、鳥取ブランドの向上にもなる。研究により更に美味しい牛肉になるよう期待する。
林業試験場 (中間)	山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立	近年の災害多発に伴い、山地災害に強い森林作りは重要。計画通りに進んでおり、今後の成果に期待する。
栽培漁業センター (中間)	養殖生産技術高度化事業	年間を通しての漁獲量の安定を目指し、養殖だからこそ得られる安心安全な品質で鳥取ブランドの確立を期待する。

### イ 研究内容・方法を見直して実施する研究課題

試験場	研究課題名	委員意見
農業試験場 (事前)	水田経営体の規模拡大のための高効率農地管理技術の確立	水田の高効率農地管理は重要な課題であり、水田作業をどう効率化するか具体的に提示できるようにすること。
中小家畜試験場 (中間)	「鳥取地どりピヨ」のブランド向上に関する試験	鳥取地鶏の特徴・ユニークさをデータにより具体的に示すことで、消費拡大や新規生産農家の開拓にも繋がるようにしていただきたい。

## 3 今後の取組

- ・委員の専門性の高い意見や助言を踏まえながら、試験研究課題への反映を行い、試験研究のより効率的な実施及び広く普及可能な技術の確立を図る。
- ・今回の評価結果をホームページ等で公開し、農業者をはじめ、広く一般県民の皆様に試験研究の周知と理解促進を図る。

【別紙】

農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点 (15点中)	総合評価
農業 試験場	事前	減化学肥料水稻栽培に向けた施肥管理技術の確立	R6 ~ R8	10.1	○
		水田経営体の規模拡大のための高効率農地管理技術の確立	R6 ~ R8	10.0	○
	中間	水田農業経営体における白ネギを核とした野菜導入技術の確立	R3 ~ R7	11.6	○
園芸 試験場	事前	【組替継続】市場競争力のある鳥取オンリーワン園芸品種の育成	R6 ~ R10	13.9	◎
		【組替継続】鳥取の野菜主要品目における革新的技術による生産安定	R6 ~ R10	13.3	◎
		【組替継続】梨生産者ニーズに応え次世代へつなぐ生産安定技術の確立	R6 ~ R10	12.9	◎
		【組替継続】「輝太郎」を核としたカキの産地力強化に向けた栽培技術の確立	R6 ~ R10	12.9	◎
		【組替継続】中山間地園芸作物の栽培技術の確立	R6 ~ R10	12.1	◎
		【組替継続】鳥取の花き主要品目における安定・高品質生産技術の確立	R6 ~ R10	12.9	◎
		【組替継続】気候・風土に適応した砂丘ラッキョウ・ナガイモの安定生産技術の確立	R6 ~ R10	12.9	◎
畜産 試験場	事前	全共に勝つ&鳥取和牛ブランド向上のための肥育技術の確立	R6 ~ R10	13.3	◎
		タイムラプスインキュベーターを活用した体外受精卵技術の確立	R6 ~ R10	13.6	◎
		日齢+100kgを目指した子牛育成技術の確立	R6 ~ R8	11.1	○
中小家畜 試験場	事前	畜産汚水処理施設遠隔監視システムの製品化	R6 ~ R8	11.7	○
	中間	「鳥取地どりピヨ」のブランド向上に関する試験	R3 ~ R6	10.6	○
林業 試験場	中間	山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立	R3 ~ R6	13.0	◎
		再生林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験	R3 ~ R6	11.9	○
栽培漁業 センター	中間	【組替継続】養殖生産技術高度化事業	R3 ~ R8	12.3	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

	評価項目
事前 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究ニーズ・緊急性(5点満点)</li> <li>研究計画・目標の整合性(5点満点)</li> <li>生産者・消費者への波及効果(5点満点)</li> </ul>
中間 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性・社会情勢の変化への対応(5点満点)</li> <li>進捗状況及び達成見込み(5点満点)</li> <li>生産者・消費者への波及効果(5点満点)</li> </ul>